

- 【1作目】平成22年11月～平成23年3月
調査内容 オール電化での栽培実証・LED利用調査
- 【2作目】平成23年5月～平成23年9月
調査内容 夜間冷房試験・LED利用調査
- 【3作目】平成23年11月～平成24年3月
調査内容 低温で栽培可能な品種の調査
遠赤色LEDを利用した草丈伸長効果の確認



平成23年度実証報告

低温で栽培可能な品種の調査・遠赤色LEDを利用した草丈伸長効果の確認
輪菊の低温管理の有効性を実証しました。

輪菊は定植後、花芽分化抑制のために50～60日電照し、その後消灯してさらに50～60日生育させて収穫します。平成23年度は、定植から消灯までのハウス内夜間温度を12度、消灯から開花までを14度に管理した低温区と、定植から開花までの夜間温度を15度と一定にした中温区で栽培し、開花までの日数や草丈の伸びを比較しました。栽培の結果、輪菊「精興北雲」で消灯から開花まで栽培ハウス内の夜間温度を14度にしても短期間で開花することが明らかになりました。一般的な品種では約18度が必要となります。これまで、「精興北雲」は低温開花性が高いことは知られていましたが、明確な数字はわかっていませんでした。今後もこのような実証を継続し生産者により良い情報を発信していきます。

低温管理条件と品種別開花の状況

- 栄養生长期間(定植～消灯)51日間／夜間温度12℃
生殖生长期間(消灯～開花)夜間温度14℃
- 精興北雲 開花まで55日間 ※中温区では開花まで55日間
 - 精興の誠 開花まで62日間 ※中温区では開花まで55日間



遠赤色LEDを利用することで菊の草丈伸長効果を確認しました。

- 栄養生长期間の照射では調査した6品種のうち1品種「精興の誠」で草丈伸長効果を確認しました。
- 生殖生长期間の照射では調査した6品種「神馬」「精興の誠」「精興北雲」「雪姫」「レミダス」「セイエルザ」すべてで草丈伸長効果を確認しました。

親子花育教室

親子花育教室を開催しました

平成23年3月、低炭素モデルハウスで試験栽培した花を利用しての「親子花育教室」を開催しました。協議会ではこのような活動を通じて、一般市民に向け低炭素施設園芸づくりの理解を深めていきます。



田原市低炭素施設園芸づくり協議会構成員

田原市、愛知みなみ農業協同組合、イシグロ農芸有限会社、農業経営士協会東三河支部田原分会、東三河農林水産事務所田原農業改良普及課田原市認定農業者連絡会、田原市青年農業士会、田原市4Hクラブ連絡協議会、株式会社サイエンス・クリエイト、国立大学法人豊橋技術科学大学

問い合わせ

田原市低炭素施設園芸づくり協議会事務局(田原市産業振興部農政課)
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 Tel.0531-23-3517 Fax.0531-22-3817
ホームページ:<http://teitankyo-tahara.jp>

■場所 低炭素モデルハウス
〒441-3426
愛知県田原市
大久保町黒河原269
Tel.0531-23-0201



農林水産省の平成21年度
低炭素むらづくり
モデル支援事業の
モデル地区に選定されました。

田原市低炭素 施設園芸づくり協議会 の取り組み

——平成23年度実証報告——

愛知県の田原市低炭素施設園芸づくり協議会では、太陽光の豊富な地域特性を活かし自然エネルギーの活用と省電力機器による低炭素施設園芸を実現するため、低炭素モデルハウスでの菊の栽培実証を平成22年11月より開始しました。この活動により、地球環境・地域環境に配慮する生産者と住民を増やし、地域全体での低炭素施設園芸の普及を目指します。さらに、生産者への導入効果、経済的メリットを明確にすることにより地域産業の活性化を図っていきます。



<http://teitankyo-tahara.jp/>
菊の生育状況がライブカメラで
ご覧いただけます。

平成22年4月から平成26年3月まで低炭素施設園芸の実現を目指し菊の栽培実証を実施しています。

